

2025 年 5 月 24 日 碓氷川支流 墓場尻川 沢登り

メンバー L 谷内、村中

予報では「曇りのち雨」となっていましたが、実際には比較的明るい曇り空で、雨に降られることもなく快適に行動できました。朝はやや肌寒かったため、上下とも雨具を着て出発。駐車場で沢装備を整えてから歩き始めました。

林道を数分歩いた後、急な斜面を下って入渓。入ってすぐに連続したナメ滝が現れます。大きな湯ノ沢第 2 ダムは右岸側から巻いて通過。そのすぐ先で 6m のナメ滝が現れ、右壁（グレートIVとされています）をロープを使って登りました。壁にはハーケンが打ち込まれており、これを利用して安全に登攀。

その後もナメ滝が続き、チョックストーン滝では左岸を巻いて進み、三分岐点に到着。ここからは左俣に入り、すぐに三連滝が出てきます。一段目は登れそうに見えましたが、少し離れて二段目を確認すると、トイ状で取り付きがなく滑りやすいそうだったため、左岸を巻いて進むことにしました。

再び穏やかなナメ滝が続いた後、雌滝が現れます。記念撮影をしたのち、右岸を巻いて通過。この斜面は枯れ葉が積もっており滑りやすかったものの、残置されたナイロンロープやアックスを使って安全に登りました。

雄滝の前でひと休みし、その後左岸を巻いて林道へ。ここは脆い岩が多く、急斜面だったため、灌木やアックスを頼りに進み、約 30 分で林道に到着しました。装備を解除し、杣道を 30 分ほど歩いて旧中山道の林道に合流。

さらに陣場が原（子持山の脇）から 1km ほど下った、やや開けた場所で左手の尾根に取り付き、そのまま尾根沿いに下降。途中で 1 ヶ所、懸垂下降を行いました。最後の 30 分は幅 1m ほどの枯れ葉に覆われた小川を下って進み、最終的に霧積ダムの車道に出ました。

全体を通してナメ滝が中心で、足元のグリップも良好。シーズン始めのトレーニングに適したルートだった。ロープを使う場面は 1 ヶ所のみ。雄滝から林道に抜ける 30 分間と、下降の終盤（旧中山道から外れたあたり）に注意すれば、危険箇所も少なく、安心して楽しめる沢でした。

コースタイム

5:50 駐車場 - 6:00 入渓 - 6:35 6m ナメ滝 - 7:15 チョックストーン滝 - 7:40 三分岐 - 8:00 三連滝 - 8:35 雌滝 - 9:00 雄滝 - 9:30 林道 - 10:40 陣場が原 - 12:15 霧積ダム車道 - 12:20 駐車場

植物メモ：ウワバミソウ（写真 2 枚目）



